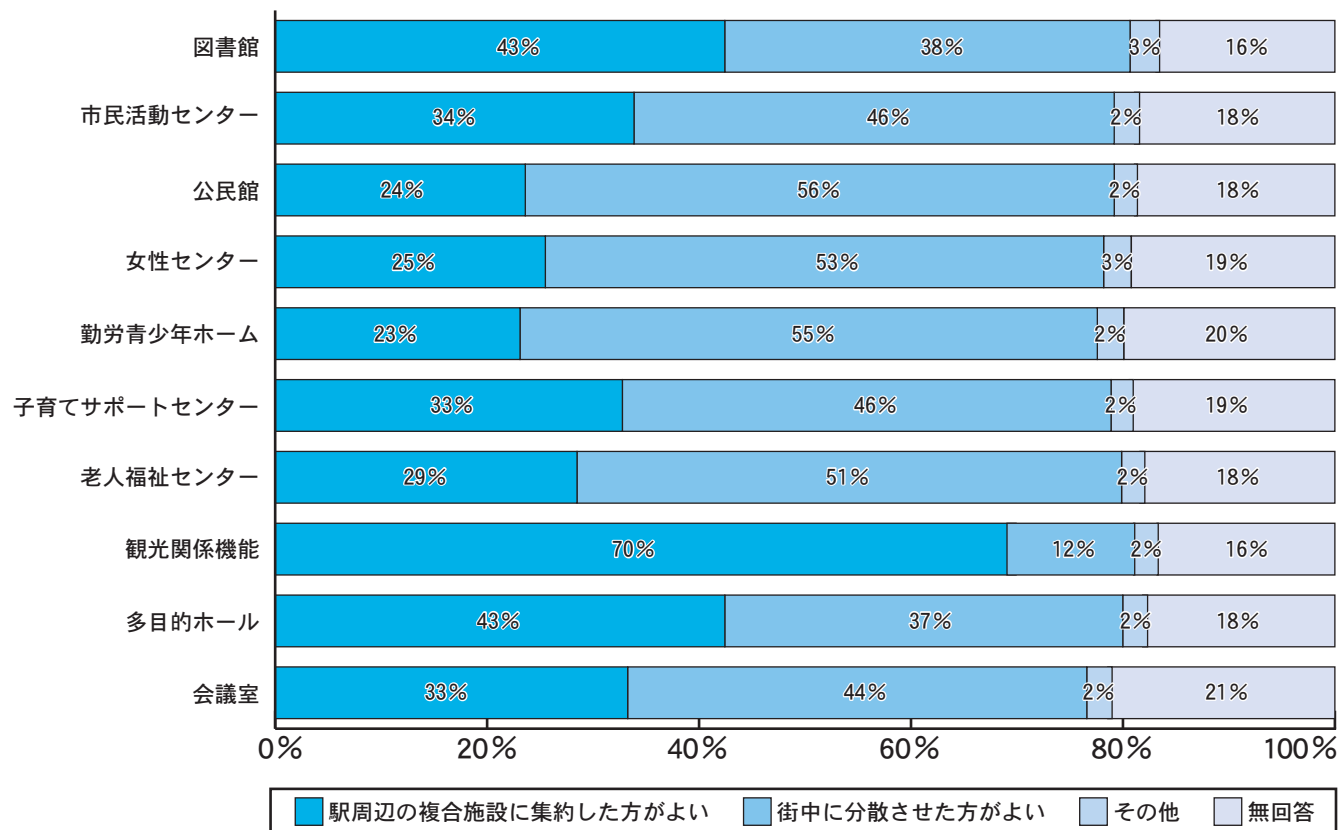


図9 一ノ関駅周辺に次の公共施設などを集約することについての考え



これまでの主な経過

平成19年 磐井川堤防改修にかかわるまちづくり検討委員会を庁内に設置。素案の取りまとめ
 平成20年11月～12月 一ノ関駅周辺の整備に関する市民懇談会、関係団体などとの懇談会を開催し素案の概略説明と懇談を実施
 平成21年1月～3月 一ノ関駅周辺の整備に関するワークショップの開催
 平成21年3月～4月 一ノ関駅周辺の整備に関するパブリックコメントの実施
 平成21年3月 市議会が一ノ関駅周辺整備等大規模事業調査特別委員会を設置
 平成21年3月 一ノ関商工会議所が一ノ関駅前周辺整備に関する提言
 平成21年4月～5月 磐井川堤防改修にかかわるまちづくり(一ノ関駅周辺整備)アンケート調査
 平成21年5月 一ノ関駅周辺整備まちづくり市民検討委員会を設置
 平成21年6月 一ノ関駅周辺の整備に関する住民懇談会を開催し、基本構想(素案)の内容やワークショップの提言などの説明と懇談を実施

一ノ関駅周辺整備基本構想(素案)の内容

1 現在の一ノ関駅舎の場所に、複合施設を建設
 複合施設には、図書館、公民館、女性センター、勤労青少年ホーム、市民活動センター、子育てサポートセンター、観光案内など観光情報発信機能、老人福祉センターなどの各機能を集約
2 一ノ関駅舎は、線路の上に移転新築(橋上駅舎)
3 東西自由通路を整備(東口と西口を自由に行き来できるように)
4 750台分の駐車場を整備
5 概算事業費 約132億円
 (複合施設、一ノ関駅舎の橋上化、東西自由通路、駐車場、用地費、設計費などを含む)
 【概算事業費の財源内訳】
 ▷国庫補助金 34億円(まちづくり交付金)
 ▷合併特例債 92億円(借金ですが、元利償還金の70%が事業実施年度以降に地方交付税で措置される)
 ▷一般財源 6億円(市が事業年度に負担する分)
 ※市の負担は、一般財源6億円と合併特例債の元利償還額30億円(元利償還総額102億円のうち地方交付税で事業実施年度以降に措置される70%分を差し引いた額)の合計36億円となります。ただし、JRの負担(負担金額は今後協議のうえ決定)、堤防改修事業にかかわる移転補償費(金額は未定)などが発生しますので、その金額が36億円から軽減されます。

図7 一ノ関駅周辺整備を構想素案どおりに進めるべきか

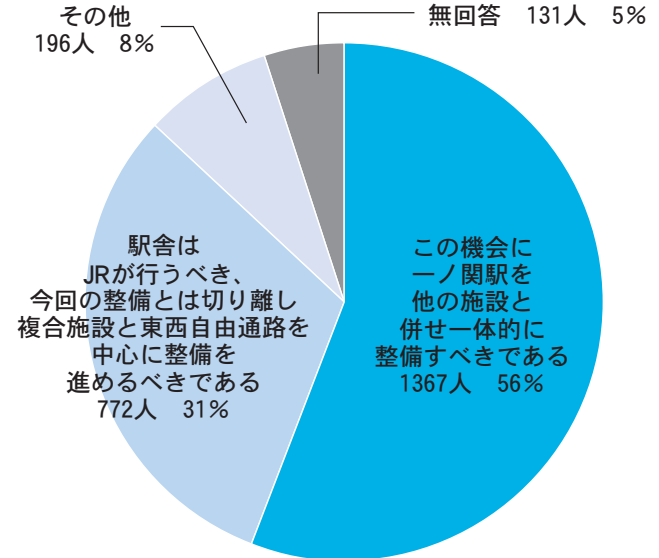
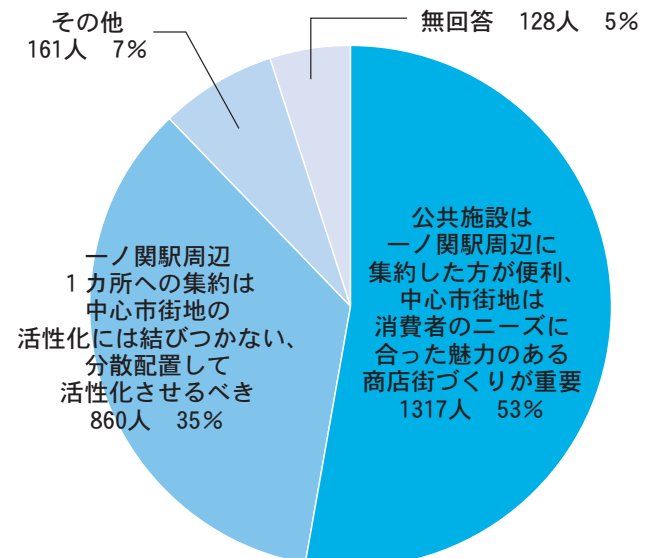
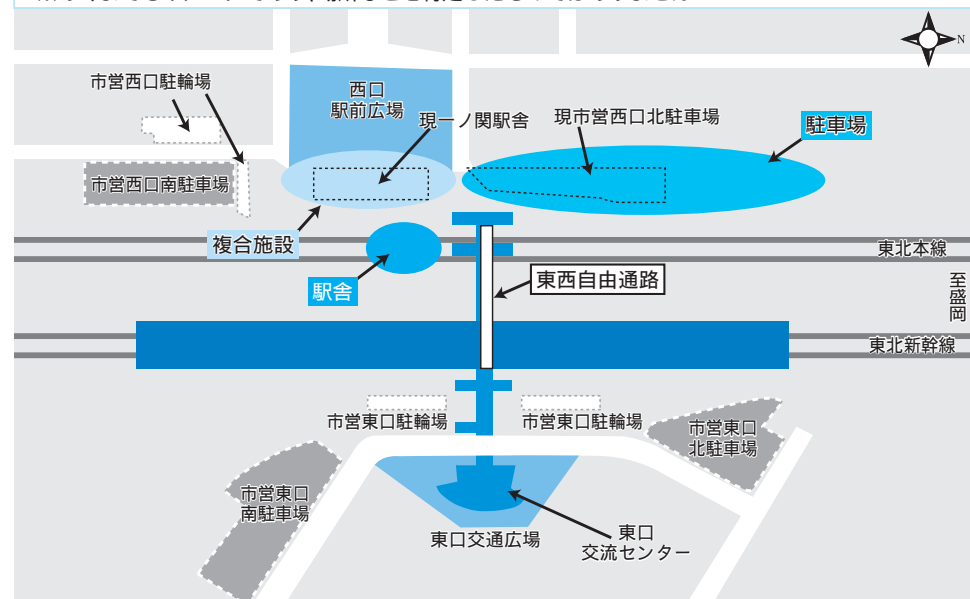


図8 公共施設の再配置についての考え



複合施設、駅舎、駐車場、東西自由通路のイメージ図(素案)
 ※あくまでもイメージであり、場所などを特定したものではありません



問4 一ノ関駅周辺整備について、現在の構想素案どおり進めることについて：図7
結果4 この機会に一ノ関駅を他の施設と併せ一体的に整備すべきとの回答が56%。「駅舎改築はJRが行うべきで、今回の整備とは切り離し、複合施設と東西自由通路を中心に整備を進めるべき」との回答が31%でした。
問5 公共施設の再配置について、どちらの考えに近いかについて：図8
結果5 「公共施設は交通の便の良い一ノ関駅周辺に集約し

た方がよい。中心市街地のにぎわいを作るには、消費者のニーズに合った魅力のある商店街づくりが重要」との回答が53%。「一ノ関駅周辺1カ所に集約しても中心市街地の活性化には結びつかないことから、分散配置をして中心市街地を活性化させるべき」との回答が35%でした。
問6 一ノ関駅周辺に集約しようとしている公共施設などについて：図9
結果6 「駅周辺の複合施設に集約した方がよい」との回答が多い施設は、図書館、観光関

係機能、多目的ホール。「分散させた方がよい」との回答が多い施設は、市民活動センター、公民館、女性センター、勤労青少年ホーム、子育てサポートセンター、老人福祉センター、会議室となりました。
アンケート結果の活用
 アンケート結果は、市民26人で構成している一ノ関駅周辺整備まちづくり市民検討委員会での「基本構想(案)」の策定作業に活用していくことにしています。また、同検討委員会では、同時

にこれまで実施した懇談会やパブリックコメントなど、市民の皆さんからいただいたご意見、ご提言を総合的に勘案して策定していくこととしています。
 最終的な基本構想は、同検討委員会の案を基に、市長が議会の意見も踏まえて、策定するこ

※アンケート結果の詳細については、本庁企画調整課および市ホームページで公開しています。
 ◎問い合わせ先
 本庁企画調整課企画調整係
 ☎086441

ととしています。